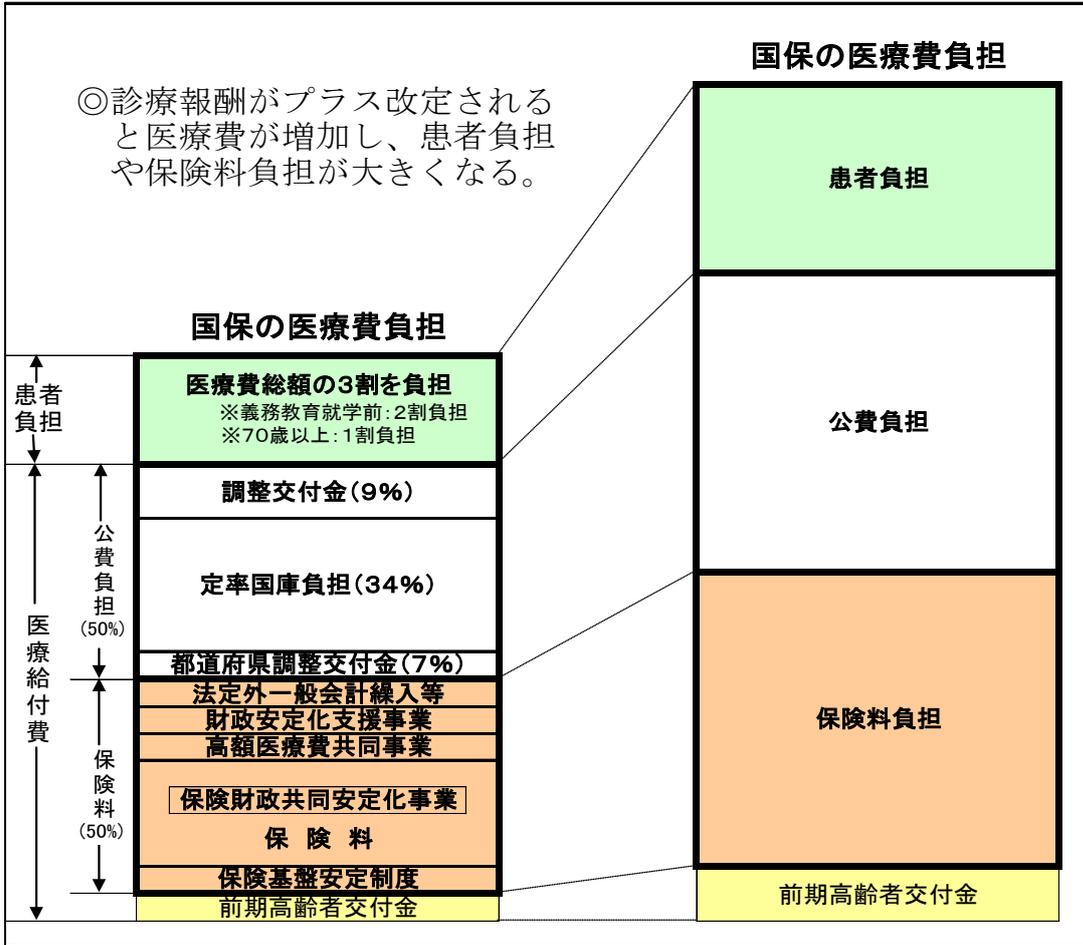


## 診療報酬プラス改定の国保への影響



## 国保(市町村)の収支状況〔退職被保険者分を除く〕

(単位: 億円)

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
収入(合計額)	69,987	73,426	78,114	79,647	82,979	83,954	85,458	89,601	95,909
支出(合計額)	68,050	71,506	75,928	79,236	81,857	82,755	84,461	88,944	96,286
収支差引額	1,937	1,920	2,186	411	1,123	1,198	997	657	▲ 377
国庫支出金精算額等	▲ 80	328	▲ 125	416	▲ 196	▲ 352	▲ 284	▲ 259	589
精算後単年度収支差引額	▲ 1,205	▲ 1,029	▲ 1,838	▲ 1,619	▲ 1,472	▲ 830	▲ 1,121	▲ 930	▲ 1,290
一般会計繰入金(赤字補填を目的とするものを除いた場合の精算後単年度収支差額)	▲ 3,225	▲ 3,284	▲ 4,141	▲ 3,936	▲ 3,855	▲ 3,288	▲ 3,697	▲ 3,343	▲ 3,846
(参考)老人保健拠出金	23,686	21,936	25,062	27,931	25,263	22,361	20,488	18,771	17,998
単年度収支差引額	総数	3,245	3,242	3,235	3,224	3,144	2,531	1,835	1,804
	黒字被保険者数	1,278	1,520	1,223	1,173	847	1,036	666	521
	赤字被保険者数	1,967	1,722	2,012	2,051	2,297	1,495	1,169	1,283
	(割合)(%)	60.6	53.1	62.2	63.6	73.1	59.1	63.7	71.1

(注) 1. 厚生労働省資料による。

2. 平成14年度は、市町村の国保特別会計の会計年度区分の見直し(4月～3月診療ベースから3月～2月診療ベースへ)があり、11ヶ月決算であるため、保険給付費等について平成15年3月診療分を加え12ヶ月分とした上で算出している。

## 決 議

本日ここに、全国の国民健康保険関係者が一堂に会し、国民健康保険が当面する諸問題の改善を期して、国保制度改善強化全国大会を開催し、慎重審議した結果、次のとおり満場一致これを採択した。

国は、国民健康保険制度の現状を踏まえ、次の事項を必ず実現されるよう本大会の総意をもって強く要望する。

### 記

- 一、 医療保険制度の一本化の実現
- 一、 医療保険制度改革の検討における地方自治体の意見の尊重
- 一、 高額医療費共同事業・保険基盤安定制度・財政安定化支援事業など国保財政基盤強化策の継続実施と一層の拡充強化
- 一、 診療報酬体系の合理化の推進及び高齢者の特性に着目した報酬体系の確立
- 一、 医師確保対策の強力な推進及び地域医療体制の充実・強化
- 一、 特定健診・保健指導の効率的な推進、円滑な対応に向けた保健師等の十分な人材確保及び所要の財政措置の確立
- 一、 後期高齢者医療制度について、特別対策を含め十分な広報と必要な財源の確保
- 一、 被保険者資格喪失情報届出の義務化
- 一、 国民健康保険組合の健全な運営の確保

右 決議する。

平成二十一年十一月十九日

国保制度改善強化全国大会